

*** 今日の健康 (5月) ***

< 結核 (その2) >

< 結核の予後 >

結核は治療をしっかりと最後までできれば、ほぼ治る病気です。確率は低いですが、再発することがありますので、治療後2年間は定期的に胸部エックス線検査をします。自己判断により途中で治療を止めた場合、薬剤耐性結核を引き起こす危険性があるので最後まで治療しましょう。

< 新登録結核患者の疫学的特徴について >



1. 再治療患者

平成29年新登録結核患者のうちの再治療者は、前年から減少。前回治療年2010年以降の者が再治療者のうち51.5%。

2. 発見・診断の遅れ

平成29年の新登録肺結核患者のうち有症状の者の中で、受診が遅れた(症状発現から受診までの期間が2か月以上)患者の割合は、20.8%となり、平成14年以降で最高となっている。

診断が遅れた(受診から結核の診断までの期間が1か月以上)患者の割合は、21.7%

発見が遅れた(症状発現から結核の診断までの期間が3か月以上)患者の割合は、21.2%

3. 抗結核薬に対する薬剤耐性

平成29年の新登録肺結核培養陽性結核患者9,580人のうち、薬剤感受性検査結果が判明した者は7,891人で、割合は82.4%となり初めて80%を越えた値となっている。

4. 糖尿病、HIV合併例

平成29年の新登録結核患者のうち、糖尿病合併患者は新登録結核患者の14.1%。

HIV陽性は34人で、新登録結核患者の0.2%。

5. 医療従事者の結核感染

平成29年の新登録結核患者のうち、看護師・保健師からの登録患者は216人で、昨年の191人から25人の増加

平成29年の新登録結核患者のうち、医師の登録患者は38人で、新登録結核患者の0.2%。

平成29年の新登録結核患者のうち、理学療法士、作業療法士、検査技師、放射線技師など、看護師・保健師・医師以外の者で医療機関に勤務する者の登録患者数は280人で昨年の231人から49人の増加となり、新登録結核患者のうちの割合は1.7%となっている。

詳しくは 結核予防会結核研究所ホームページ

http://www.jata.or.jp/about_basic.php

厚生労働省ホームページ

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000175095_00001.html

前澤クリニック 内科・小児科 0422-30-2861

天文台通り多摩信用金庫のななめ裏